

高津区の福祉

# おあしす

希望の泉

第46号

平成30年3月1日



(社会福祉協議会の会章)

発行 社会福祉法人 川崎市高津区社会福祉協議会  
川崎市高津区溝口1-6-10てくのかわさき3階福祉パルたかつ内  
TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549  
<http://www.kawasaki-shakyo.jp/takatsu/>  
E-MAIL: info@takatsukushakyo.com

発行人 斉藤 二郎  
編集人 おあしす編集委員会

## 町会長から見た 高津区社会福祉協議会

新作第二自治会 会長 小林 由 夫



新作第二自治会は中原区と高津区の境目に位置する武蔵新城の駅に近い場所にあります。

世帯数は1700あり、マンションと戸建てが半数ずつの形態で、自治会体制で役員は未だ戸建て中心傾向ですが年々マンションの役員も増えてきています。

当自治会の主だった活動を二つ紹介させていただきますと、一つは防犯パトロールですが、毎週火曜と金曜の夜の町内見回りと地域の小学校の毎日の登下校の見回り、月1回の青灯パトロールを12年間継続中です。防犯カメラも設置しました。

もう一つは毎年11月の文化祭の開催です。この文化祭の出展者の殆どが高齢者です。手芸品や絵画や写真等の力作ばかりです。中には自治会内に在るディケアからの出展もあります。文化祭が終わると来年に向けての創作に入る人もいます。

自治会の紹介が長くなってしまいましたが、課題の社会福祉協議会については、関わっている保護司会・民生委員・自治会長それぞれに役

員を選出させていただき、各立場での役割を果たしています。

益々高齢化が進む中で社会福祉は充実が必要だと思えますが、一方で支援する立場人の高齢化も進んでいます。

新規に民生委員の選出にはどの町内会でも苦労していると思いますが、福祉関係の役員を受けると大変ではないかと敬遠されますので、負担軽減が必要ではないでしょうか。

今後は福祉を受ける人と支援する人のバランスが必須ではないでしょうか。

皆さん、支援が必要な方は、個人・家族で悩まず地域包括支援センターのような組織もあるので、大いに相談なり頼りにしていけば悩みも解決に向かうと思います。

社会福祉の団体も尽力していますが限度があると思います。

要は社会人ひとりひとりが弱い人困っている人には労わりの気持ちを持って支援していく社会を皆でつくって行きましょう。



## 夏休み福祉・チャレンジボランティア 体験学習(チャレボラ)

社会福祉協議会では、毎年6月頃、市内の小中学校に呼びかけて、学生を対象に、子どもや高齢の方、障がいのある方とのふれ合いや、環境、地域イベントなど、たくさん用意されたプログラムの中から自分が参加したいプログラムを選んでボランティア体験できる取り組みを行っています。

### 乳幼児親子とふれ合い体験

7月26日(水)・27日(木)に子母口こども文化センター内の「地域子育て支援センターしほくち」で来山万葉さん(高校1年生)と国谷まなみさん(中学2年生)のふたりが乳幼児親子とふれ合う福祉ボランティア体験をしました。

「親子にとってどのような支援センターがよいか、体験交流を通して気づいたことや考えたことを教えて欲しい。積極的にかかわりを持って欲しい。」との担当職員からの話を受けてボランティア体験が始まり、1日目は「親子DEふれあい遊び」のイベントがあり、3ヶ月の赤ちゃんを抱いたり1～3歳の幼児と遊んだりしました。年齢の違う子どもたちとそれぞれゆったりと過ごし、子どもたちの母親ともコミュニケーションをとっていました。

2日目は、母親が作ったコロコロボールをダンボールスロープの上を転がせて遊びました。30人ほどの幼児たちといろいろな遊具を使って楽しそうにか

かわる様子が見られました。子どもたちがすぐに馴染んで楽しそうに遊ぶ様子を見て、母親たちから感謝の言葉をいただき、実習の終わりに、子どもたちとかかわった感想と母親たちとの会話を通して気づいたことなどを支援センターの職員に話していました。今回の2人は、家族の後押しがあってこのボランティアに参加したそうです。一歩前に進むことで、貴重な体験ができたと言ふふたりの笑顔は素敵でした。

(子母口こども文化センター 館長 榊原 誠)



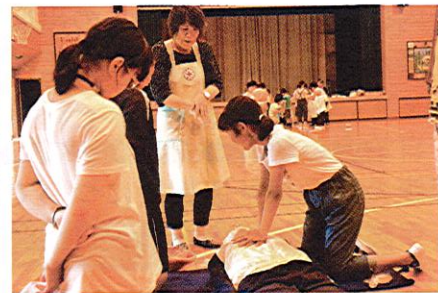
### 災害ボランティア体験

今年度は7月24日(月)に川崎市立中央支援学校で行い、夏の暑い中19名の子どもたちが参加しました。

10時に開講式を行い、その後4班に分かれて、午前中は校庭で消火器を使った初期消火訓練(写真左側)や煙ハウスを使っての火災時の移動訓練、起震車による地震体験などを行い、こまめに水分補給をしながら、みんなで楽しく真剣に、時には他の班の人たちとも協力して体験しました。

お昼の炊き出し体験では、アルファ米やお味噌汁、じゃがりこ(スナック菓子)で作ったマッシュポテトを参加者・スタッフみんなでいただき、どの食べ物もおいしく、マッシュポテトは目新しさもあり、参加した子どもたちからも好評でした。

午後からは場所を体育館に移して、骨折時の三角巾の使い方やAED、心肺蘇生の方法(写真右側)を学びます。体験する際は、それぞれが役



に分かれて実際に起きたときの動きを学び、最後は、災害についての講義を受けました。クイズ形式で講義を進め、災害が起きたときの対処方法などを楽しく学び、修了証をもらい災害ボランティア体験は終わりました。

今年は大型台風による被害や地震も多く発生しました。災害が起きた際は冷静で素早い対応が求められます。

今回経験したことが、万が一の災害が起きた際に役にたってくれることを願っています。



# 川崎市立中央支援学校と地域とのつながり

こんにちは、中央支援学校です！

高津区の皆様、私たちの学校、中央支援学校は溝の口駅から歩いて10分ほどの久本3丁目にあります。地図で見ると、高津中学校・久本小学校・高津高校と点々と並んでいるのが分かります。「中央支援学校？知らないなあ、養護学校なら知っているけど。」とおっしゃる方もおいでになるかもしれません。確かに50年間「市立養護」の名前でしたが、平成26年度に現在の校名に変わりました。

実は中央支援学校は、久本だけでなく、他にも4つの学びの場を持っています。

武蔵中原の聾学校内に高等部の分教室が、小学部は大戸小学校・稲田小学校の中に、そして宮前区の東横恵愛病院内には訪問部があります。6歳から18歳まで、さまざまな個性と魅力を持った子どもたちが、それぞれの場で毎日頑張っています。久本にあるのは中・高等部で私たちは「本校」と呼んでいます。本校では教科の授業に加えて作業・職業の授業を行いそこで作った作品・製品は1月のさくら祭やパークシティの秋祭り、武蔵溝ノ口駅頭などでご紹介・販売しています。地域の皆様との交流が少なかった本校ですが、この10年間に夏のふれあいフェスタ、中央支援祭りなどを通じてたくさんの中学生・高校生をふくむ多くの皆様が、学校に足を運んでくださるようになりました。これからもぜひ、中央支援学校の子どもたちをよろしくお願いします。

(川崎市立中央支援学校 校長 荒井 真理)



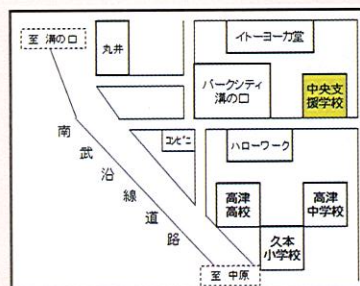
〈電車学習〉



〈職業学習：製品紹介・販売〉



〈高等部 バasketボール部〉



## ボランティア活動団体の紹介

本コーナーでは、高津区内で活動するボランティア団体の紹介をさせていただきます。

### 傾聴ボランティア「傾聴たかつ」

私たち傾聴ボランティアは、『あなたに寄り添い、お話を聴きます！』をモットーに、福祉施設、個人宅などを訪問して活動を行っています。

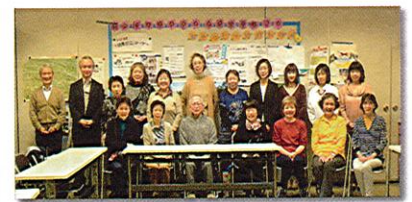
高齢者または依頼者のお話し相手になり、くつろぎと癒しの時間を少しでも共有出来ればと思っています。

平成20年に、川崎市の「生涯現役支援センター」主催の「シニア傾聴講座」を「てくのかわさき」で、20数名の受講者と学び、その中の14名で「傾聴たかつ」を立ち上げました。現在は30名で活動しております。

活動先は、溝口周辺を拠点に特別養護老人ホーム、有料ホーム、いこいの家、グループホーム、サロンカフェ、個人宅などですが、特養やグループホームへ入所されている方の7～8割の方は認知症を患っています。認知症の方は新しい記憶力には乏しいですが、若かりし頃の事、印象深い思い出などは鮮明に記憶されています。その記憶を辿りながらお話を発展させて聞き、お話しを引き出す一助を担うのが傾聴ボランティアの役目です。何度も訪問していると、心が通じるようになります。そして待つて居てください。それが人と人との繋がりだと思い訪問しております。活動回数は年間約360回。傾聴をさせて戴いた方は1年に約2500名です。傾聴活動の心構えの、『良く聴き、共感して受容、そして支持』を忘れないように心がけております。これからも“傾聴の基本”を忘れることなく、グループの皆さんと協力し邁進して参ります。

・ご紹介した団体に関するお問い合わせは、高津区社会福祉協議会まで。

(TEL: 812-5500)





# テントラちゃん活動報告!



健康運動「おたっしゃ10のトライ」を高津区内に広めるため、マスコットキャラクターの「テントラちゃん」が精力的に地域で活動しています。昨年の9月には高津区敬老会に登場し、桜井純恵さんが「テントラちゃんに行く」を歌う中、ヘルスパートナー高津の方々と一緒にテントラ体操を披露し会場を盛り上げました。また、昨年10月の赤い羽根共同募金で街頭募金に参加した際には、多くの方々にお声掛けいただきました。今後も区内のいこいの家まつりをはじめとする各種イベントに参加し、健康運動の普及活動に取り組んでまいります。



お寄せいただいたお気持ちに感謝し、大切に活用させていただきます。

## 共同募金

平成30年1月10日現在

戸別	10,793,452
街頭・イベント	562,101
法人	686,783
校内	219,750
職域・その他	834,608
合計	¥13,096,694

10月1日から12月31日までを主な募金期間として行っています。ご協力いただいた募金は、神奈川県内の社会福祉事業等の支援のために使われるほか、高津区社会福祉協議会の子育て支援事業、移送サービス事業などに配分されます。

## 年末たすけあい

平成30年1月10日現在

戸別	8,607,025
街頭	66,281
職域・その他	41,000
合計	¥8,714,306

12月1日から12月31日までを主な募金期間として行っています。ご協力いただいた募金は、年末たすけあい見舞金やボランティア団体への配分等高津区内の福祉活動の推進のために使われます。

## 賛助会費

平成30年1月10日現在

高津第一	1,135,000
高津第二	1,714,000
高津第三	1,061,000
橘	1,593,000
その他	2,000
合計	¥5,505,000

社会福祉協議会の事業や活動に賛同していただいた方に会員になっていただき、財政的に支えていただくものです。主に高津区内の4つの地区社会福祉協議会に配分され、それぞれの事業推進に使われます。

## 寄託金品

寄託金品をお寄せくださった団体や個人の皆様  
(敬称略・順不同) (平成29年7月~12月)

### 寄託金 ¥175,097

- (株)イトーヨーカドー労働組合溝ノ口支部
- ふれあいサロン「夢」代表 小川 八千代
- 川崎歌謡連盟 代表 山本 信平
- ジルベ会 代表 峯 藤高
- 津田山フリージャーズ 井ノ口 雅子
- 中田 雅章 ●清水 善子 ●匿名

### 寄託品 高津区社協、いこいの家への寄託 (五月人形、雑巾、使用済切手など)

- 公益財団法人 スコーレ家庭教育振興協会
- 牧 文子 ●川崎市北部身体障害者福祉会館
- 匿名

## 編集委員

横山 滋 神田 幸一 小黑 久男 成田 まゆみ 川辺 清三 (順不同)

この広報紙は共同募金の配分金で作成されています。